

当別町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

当別町のコミュニティバスは、スウェーデンヒルズ地区とJR太美駅を經由し、札幌市北区とを結ぶ地域間幹線路線とこれに付随するフィーダー3路線を確保しており、通勤・通学・高齢者等の通院のほか、買い物などに利用されており日常生活に不可欠なものである。交通弱者である子どもや高齢者の移動手段を確保することで、住民の住環境の向上、高齢者の行動範囲拡大による健康増進を図るほか、コミュニティバスを通じて環境問題への啓発も資することができる。一度失ってしまったバス交通を回復させるために5年の歳月を要したことを考えると、バス路線は容易に廃止すべきものではなく、町民の健康で安全な必要最低限の住環境を守るためにも、地域公共交通の中心であるコミュニティバスを確保することは重要である。

生活交通確保維持改善計画の目標

コミュニティバスの運行による住民サービスの向上効果を得るため、次の目標を定める。

【青山線】

令和5年補助年度実績5,477人/年から、運行形態の変更(令和7年4月1日実施)により市街地予約型線へ移行すると予測される1,477人を差し引いた4,000人を基準値として、基準値から2%(※)増加させた 4,080人/年を目標とする。

【市街地予約型線】

令和5年補助年度実績2,988人/年に、運行形態の変更(令和7年4月1日実施)により青山線から移行すると予測される1,477人を加算した4,465人を基準値として、基準値から2%(※)増加させた 4,554人/年を目標とする。

【西当別道の駅線】

令和5年補助年度実績8,249人/年から2%(※)増加させた 8,400人/年を目標とする。

※当別ふれあいバス全体の利用者数の令和5年度実績147千人から当別町地域公共交通計画及び当別町地域公共交通利便増進実施計画にて設定した目標値「住民等の公共交通の利用者数(コミュニティバス)」の令和7年度目標達成までの増加率。

令和7年度事業概要

- 1 青山線① JR当別駅南口～とうべつ整形外科～みどり野会館 運行日数 241日 運行回数 658.5回 運賃 1回200円
- 2 青山線② JR当別駅南口～とうべつ整形外科～青山会館 運行日数 240日 運行回数 597回 運賃 1回200円
- 3 市街地予約型線 JR当別駅南口～当別町内～JR当別駅南口 運行日数 240日 運行回数 1,524回 運賃 1回200円
- 4 西当別道の駅線 北欧の風道の駅とうべつ～JR太美駅～ヒルズE5-3-17 運行日数 365日 運行回数 1,704.5回 運賃 1回200円
- 5 スターライト道の駅線 北欧の風道の駅とうべつ～JR太美駅～太美スターライト中央運行日数 179日 運行回数 268.5回 運賃 1回200円
- 6 西当別線 JR太美駅～スウェーデンガーデン～ヒルズE5-3-17 運行日数 121日 運行回数 786.5回 運賃 1回200円
- 7 西当別ロイズタウン線 JRロイズタウン駅～JR太美駅～ヒルズE5-3-17 運行日数 62日 運行回数 310回 運賃 1回200円

地域公共交通の現況

【鉄道】

・JR札沼線 当別駅、太美駅、北海道医療大学駅、ロイズタウン駅

【コミュニティバス等】

・当別ふれあいバス

地域間幹線系統: あいの里金沢線

地域内フィーダー系統: 青山線、市街地予約型線、西当別道の駅線

・月形当別線

【タクシー・ハイヤー】

・3社

【スクールバス】

・11系統

協議会開催状況

令和6年6月24日 第1回協議会を開催

主な協議事項: 地域公共交通計画の評価、地域内フィーダー系統確保維持計画他

令和6年10月17日 第2回協議会を開催

主な協議事項: ダイヤ改正について他

令和6年12月24日 第3回協議会を開催

主な協議事項: 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価他

令和7年2月13日 第4回協議会を開催

主な協議事項: 令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る計画の変更について、令和7年度協議会運行事業計画、令和7年度協議会予算、令和7年4月1日付けダイヤ改正について

令和7年6月24日 第1回協議会を開催

主な協議事項: 地域公共交通計画の評価、地域内フィーダー系統確保維持計画他

令和7年10月9日 第2回協議会を開催

主な協議事項: ダイヤ改正について他

令和7年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・西当別エリアのバス路線再編
- ・「とべナビ」アプリの運用、デジタルサイネージの運用
- ・地域向けモビリティ・マネジメント
- ・小学生向けのモビリティ・マネジメント
- ・小中学生向け夏休み冬休み子ども定期券の販売
- ・利用者ヒアリング調査(車内ヒアリング)

2) 運行系統

【青山線】



【西当別道の駅線】

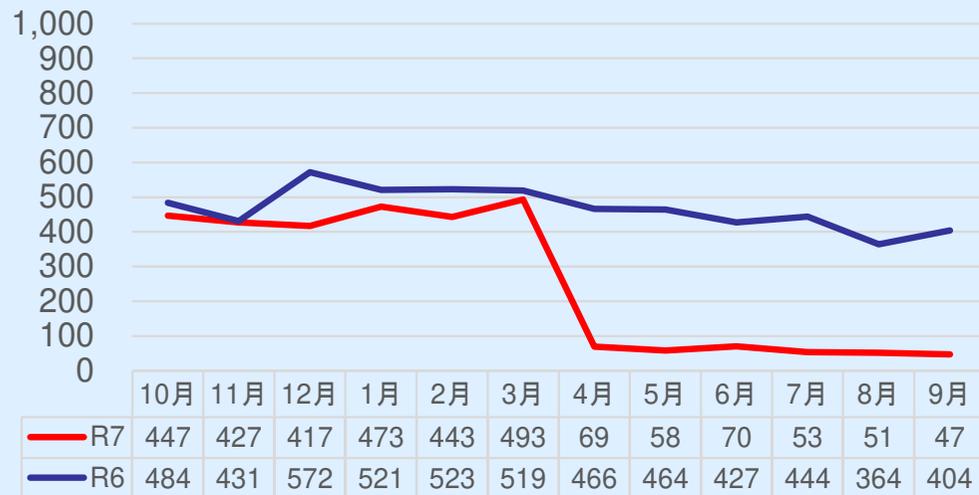


【市街地予約型線】

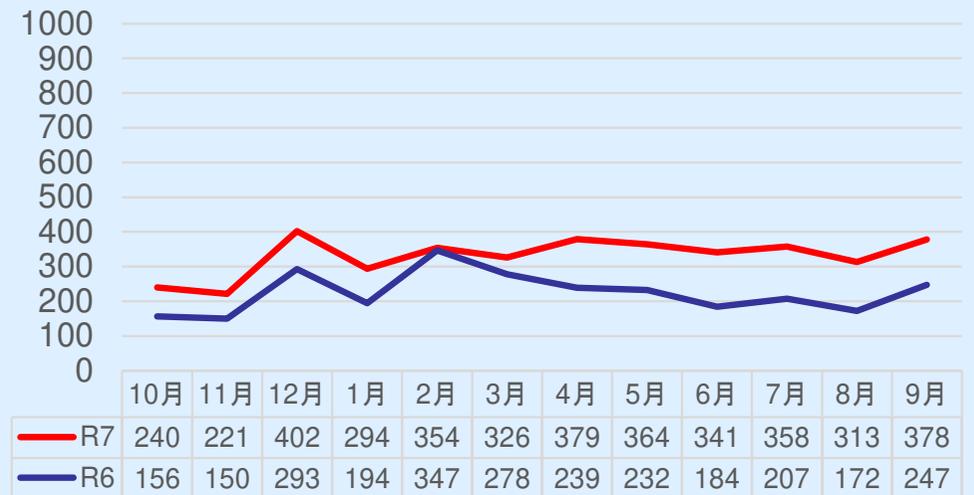


3) 利用実績

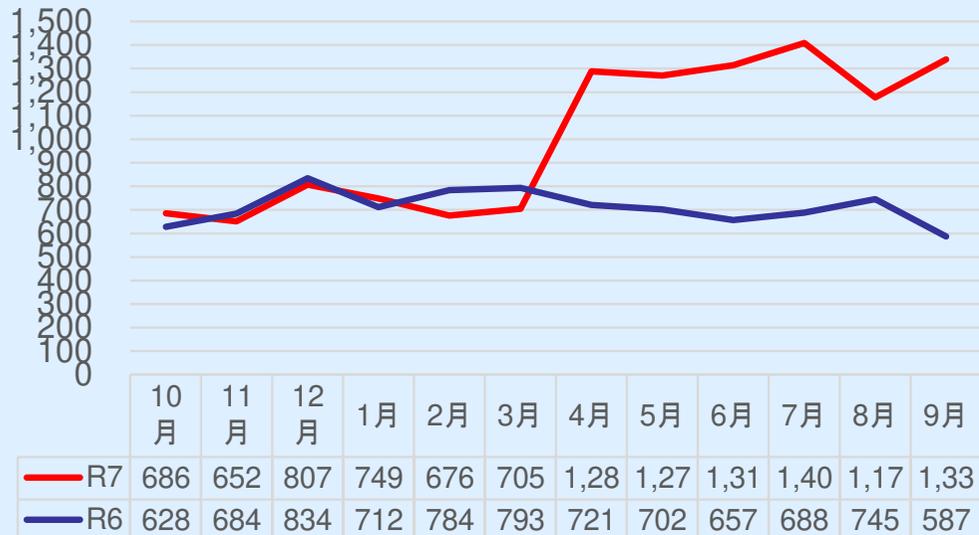
青山線



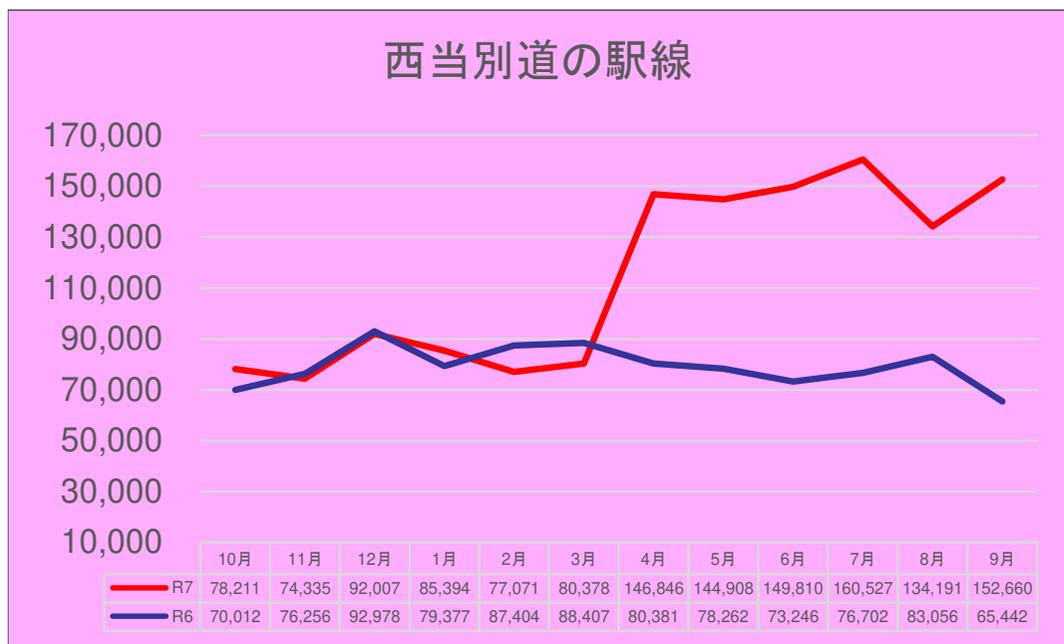
市街地予約型線



西当別道の駅線



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

1. 青山線①②

事業が計画に位置付けられたとおり適正に実施されている。

2. 市街地予約型線

事業が計画に位置付けられたとおり適正に実施されている。

3. 西当別道の駅線

事業が計画に位置付けられたとおり適正に実施されている。

6) 目標・効果達成状況

1. 青山線①②

年間利用者数 目標 4,080人 実績 3,048人

2. 市街地予約型線

年間利用者数 目標 4,554人 実績 3,970人

3. 西当別道の駅線、スターライト道の駅線

月間利用者数 目標 8,400人 実績 12,072人

7) 事業の今後の改善点

1. 青山線①②

今後、運行エリアの人口減少や高齢化の状況を注視し、適切な公共交通を検討する。

2. 市街地予約型線

運行エリアの見直しについて検討するとともに、引き続き利用方法の周知や地域でのモビリティ・マネジメントを実施する。

3. 西当別道の駅線、スターライト道の駅線

引き続き利用者の増加を目標に、ダイヤの見直し等、利便性の向上に務める。

8) 地方運輸局等における二次評価結果(案)

運輸局記載欄